

## クアンビン省における統合的クラスター弾等の 調査・除去事業ご挨拶（案）

日時：2020年7月7日

場所：クアンビン省ドンホイ

（冒頭挨拶）

クアンビン省人民委員会副委員長チャン・ティエン・ズン様、ベトナム国家地雷アクションセンターグエン・バン・ギェップ様、ご来賓の皆様、おはようございます。在ベトナム日本国大使館を代表しまして、ご挨拶申し上げます。

まず、マインズ・アドバイザー・グループ（MAG）、ノルウェー人々の援助（Norwegian People's Aid）、ピースツリーベトナムの皆様、本日の会の開催、誠にありがとうございます。

（日越関係）

日本とベトナムは多くの戦略的利益を共有しており、日本は、ベトナムの持続的発展が、東アジア地域全体の安定と繁栄にとって、極めて重要であると考えています。

このような認識に立ち、日本はベトナムがより力強く、経済的に繁栄した国になるために、ベトナムとの連携・協力関係を強化してきました。

（草の根・人間の安全保障無償資金協力）

日本は様々な支援スキームを通じて、ベトナムの経済発展を支援してきました。その一つである、草の根・人間の安全保障無償資金協力（GGP）は、大型のODA事業だけでは支援の届きにくい、地域に根ざした草の根レベルでの裨益効果が高いプロジェクトに対して、資金供与を行うものです。ベトナムでは1992年から支援を開始し、今日までに5,600万ドル以上の支援をしてきました。

（MAGとの協力）

このGGPを通じて、在ベトナム日本国大使館は、MAGに対

して2015年からクアンビン省における不発弾除去事業の支援を続けてきました。コミュニティに寄り添いながら、不発弾除去事業を進めるMAGの姿勢は、まさにGGPの理念を体現するものであると考えており、これまでのMAGのたゆまぬ努力とその実績に改めて敬意を表します。

(コンソーシアム立上げ)

しかしながら、ここクアンビン省には、依然多くの不発弾が存在し、人々はその脅威にさらされています。これらの不発弾除去のためには、一層の努力が必要です。

そのような中、今回、こうしてクアンビン省において、不発弾除去事業を実施する関係機関が協力してコンソーシアムを立ち上げたことを、大変嬉しく思います。

これを機に、クアンビン省における不発弾除去事業が一層加速化し、安全な土地が少しでも多く、少しでも早く、人々の手に戻ってくることを願うとともに、この事業がクアンビン省のますますの社会経済発展の基礎となることを心から願っています。そして、当館としても、その一助として貢献できること嬉しく思っています。

(結語)

最後に、皆様の御健勝と本事業の成功をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。